



発行所 飯田市竜丘公民館
編集人 竜丘公民館広報委員会
印刷所 龍共印刷株式会社
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

人口 6,519人
男子 3,182人
女子 3,337人
世帯数 1,875戸
(5年12月末現在)

文化の祭典にぎやかに
小さな活動を地域の輪にして



天までとどけ 紙ひこうき



熱気むんむん 宝投げ

紅葉も里におりてきた秋のさかり、恒例の竜丘地区文化祭が開催されました。
地区内の各団体、機関が目まぐる文化活動の発表の場として又、活動の一環として二日にわたって竜丘小学校にて行なわれました。参加者みなさん楽しい時間を過ごす事ができました。



にぎわったバザー

去る十一月十三日、十四日の二日間、竜丘小学校を会場に「竜丘地区文化祭」が開催されました。
十三日の土曜日は午後から展示公開・子ども広場・ビデオ放映・喫茶が催されました。子ども広場は校庭で『わんぱくギネス』を予定していましたが、だんだん雲ゆきがあやしくなり雨が心配されましたが、なんとか小雨ながら全種目行なう事ができました。

「紙ひこうき飛ばし」は「はきもの飛ばし」、「ソフトボール投げ」の三種目で小学校低学年・高学年・男女と四つのグループに分かれて記録に挑戦しました。
「紙ひこうき飛ばし」は今、なかなかこういう遊びをしない現代の子が増えて

自分の今はいっているはきものを片方けり飛ばして距離を競うものですが、こちらも新記録は出ませんでした。最後の「ソフトボール投げ」では、女子高学年の部で、六年生が今までの二十五・九メートルを大幅に上回る三十三・三メートルという新記録を出しました。
日常子供達もなかなかこういう体験をする事が少ないようなので、その意味でも良い機会ではないでしょうか。

土曜日の展示は見る人がまばらで少しさみしかったですが、じっくり見て回るにはねらい目でしょう。
ビデオ放映は橋一郎さんがこの一年を通じて、ビデオカメラのレンズを通して見た竜丘公民館の事業記録と合わせて伊那谷の祭事などの映像が放映されました。
十四日の日曜日は催し物も多く朝から多くの方が訪れました。バザー・野菜販売などたいへんな賑わいでした。展示・喫茶コーナーも昨日とは違って変わって、こちらも盛況でしたが展示ばかりでなく日ごろの活動の一環として古墳を考える会主催の古墳見学会が行なわれました。講師をお願いして、塚越古墳の見学をして解説を聞きました。
単なる発表の場ではなく活動の一環としてとらえられた事はたいへん良い事です。
竜丘アマチュア無線クラ

美術史に残る竜丘の遺産
『自由画の黎明』発刊

大正時代後期に山本鼎を提唱者として全国に広まった「自由画運動」。竜丘小学校がその運動の中心的存在であったことは、あまりにも有名である。
ここに紹介する「自由画の黎明」という画集は、美術教育研究家の熊本高工氏と児童文化研究者の上窪一郎氏により、昨年十月、久山社から刊行された。

は画一的で非個性的。絵に至っては、大人の模写、模倣をするばかりだった。
紫水らは、子供達に自分の眼で物事を見たり、自分の感性を大切に存分に絵を描かせようとした。



スケート 尋5 林 れいさん 1927年

「自由画」は、近代日本の美術教育を百八十度転換させたといわれているが、竜丘小にわずかに残っていた初期の作品の中から、四十七点の秀作を選び、当時十七歳の紫水を選んだ。
明治以降、すべての子供が初等教育を受けられるようになり、知識や思考力を一段と高めたが、自己表現の準備、片づけにも

九月、第二回児童自由画展覧会が同校で開かれるまでになり、「自由画の竜丘小」を全国に広くアピールした。この画集に取り上げられた作品は、風景、人物、静物画のどれをとっても、これが大正時代の子供の絵

臼井原工業団地
説明会開かれる

飯田市が竜丘・伊賀良向地区にまたがる市営工業団地の建設を計画していることが、明らかになった。
市の計画では、建設場所は臼井原で、全体面積は約十六ヘクタール、団地内道路や緑地、雨水調整池などを除く工場敷地は約十ヘクタールとし、自然環境を生かした緑豊かな団地として、優良企業を誘致したいとのことである。



臼井原の現在

飯田市初の工業団地建設を当地域に計画した理由として、中央道飯田インターや、今後予定されている三遠南信自動車道天竜峡インターとのアクセス、自然環境の良さ、竜丘地区全体の文化・環境などのレベルの高さ、市街地との距離などを挙げている。団地建設の効果として、若者定住、雇用の確保、地域経済の活力増加などによる飯田市の発展が期待できるとし、誘致する企業の条件としては、公害発生のおそれがないこと、地元労働者の雇用と地元企業に仕事を発注することなどを挙げている。

環境調査を実施する予定であるとのことであった。
竜丘地区としては、策定中の地区基本構想・基本計画との整合性はもちろん、自然・生活環境の保護や農業など他産業との関係などの点で、十分な検討・協議を行っていくことが必要であるのではないか。

七ツ又

今年の冬はとも寒い日が多く久しぶりの本格的な冬がきたという感じです。朝早い仕事をしている私にとってスパイクタイヤが禁止になってからは、雪の降った次の日に出勤するとき道が凍っていたりすると滑りやすいかと車の運転に大変気を使う季節になって来ました。
また寒い季節になって来ると私は朝ふとんから抜け出すのに苦労しています。あと五分だけかと思いついりぎりまでふとんから離れられなくなってしまう事もしばしばあります。それではと気付くともう時間ぎりぎり朝食もそこそこ家に飛び出す、このような経験あなたもありませんか。

昨年飯田地区では五百一十二件余りの交通事故(人身事故)が起きており死亡事故も七件起きています。死亡事故を月別に見ると二月が四件と一番多くなっています。一年中で一番寒くなる二月になると雪が降り路面状況の悪化とともに死亡・物損事故共に多くなる時期となっている。
そこで左記の冬道の心得を守り安全運転に心掛けてください。
☆路面に雪が無くても注意
☆アクセルの踏み過ぎスリップのもと
☆カーブの手前で減速を
☆ブレーキは慎重に
☆視界の確保忘れずに
☆エンジンブレーキを有効に使う
☆他の車や歩行者などとの間合いを十分に取る
☆そして何より大事なのは、速めはやめの余裕をもって行動をしていくことで悲惨な交通事故を予防して行きましょう。

